

パブリックコメント(市民意見提出手続制度)

伊万里市一般廃棄物処理基本計画・

伊万里市分別収集計画の変更について

ごみ処理広域化事業により佐賀県西部広域環境組合が策定している『広域ごみ処理基本計画』の見直しが今後予定されています。これに伴い、平成25年度から予定していたプラスチック製容器包装の分別収集を見送るため、『伊万里市一般廃棄物処理基本計画』

と『伊万里市分別収集計画』について、計画内容を変更します。今回の計画変更案について、より多くの市民の意見を参考とするために、『パブリックコメント』を実施します。皆さんの意見をお寄せください。

パブリックコメント案内

◆公表する案および資料

- ▷伊万里市一般廃棄物処理基本計画
- ▷伊万里市分別収集計画

◆意見募集期間

1月4日(金)～1月31日(木)

◆案の公表先・入手先

- ①環境課または情報広報課市民サービス係
- ②各町公民館または市民図書館
- ③市のホームページ <http://www.city.imari.saga.jp/>

◆意見の提出方法

意見は、住所・氏名(または団体)を明記のうえ次のいずれかの方法により提出してください。

- ▷電子メール kankyou@city.imari.lg.jp
- ▷郵便 〒848-8501
伊万里市立花町1355番地1
伊万里市役所 環境課 あて
- ▷直接提出 案の公表先①または②へ提出してください。
- ▷ファックス 0955-27650
- ◆問合先 環境課リサイクル推進係 (☎2145)



市消防本部に配置された最新鋭の救助工作車

12月10日、最新鋭の救助工作車が消防本部に配置されま

救助工作車を27年ぶりに更新し配置!

市民が安全で安心できるまちをめざして

した。消防本部で行われた配置式では、新しい車両や資機材が展示されたほか、救助活動の実演も披露されました。配置された車両は、走破性を重視して四輪駆動を採用し、複雑多様化する交通事故や地震災害など各種災害に対応するため、ラジコンクレーンやウインチ、夜間の活動を支援する上昇式LED照明装置を搭載しています。また、積載資機材については、最新式の電動式大型油圧救助器具や簡易画像探索機などの高度救助資機材を導入し、効率的

な救助活動が可能です。なお、車両のサイドシャッターには、一般公募したデザインを採用しています。この車両の配置などによって迅速な救助活動が可能となり、今後の市民のさらなる安全安心の確保が期待されます。



新しい車両を使った救助活動の実演

県西部広域ごみ処理施設『地域振興策協定』・『環境保全協定』を締結

伊万里市など佐賀県西部地区の4市5町で広域ごみ処理施設建設を進めている佐賀県西部広域環境組合(管理者・塚部市長)と、建設地の松浦町の住民でつくる松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会(原口弘会長)が、12月7日に『地域振興策協定』と『環境保全協定』を結び、松浦公民館で調印式が行われました。

『地域振興策協定』では、組合が協議会に対し、平成25年度から10年間で総額10億円の地域振興事業費を支出することや、振興策とは別に1億5,000万円を限度に町内に公営の温浴施設を組合が整備することなどが明記されています。

ごみ処理施設は、平成27年10月の稼働を予定しています。



↑調印後に堅く握手を交わす原口会長(左)と塚部管理者

さらなる国際物流港としての伊万里港の発展に向けて

伊万里港ポートセールズ訪韓団が 伊万里港振興に尽力の船会社2社を訪問

伊万里港ポートセールズ訪韓団（団長・塚部市長）の一行が、韓国の首都ソウル特別市に赴き、伊万里港に国際コンテナ定期航路を運航している船会社2社を訪問しました。

11月26日には、釜山航路を運航している高麗海運株式会社を、11月27日には、華南・韓国航路を運航している興亜海運株式会社をそれぞれ訪ねました。訪問先では、いずれも、まず団長が伊万里港の定期的な利用や貢献などへのお礼を述べました。また、意見交換会などの場では、①船舶の大



↑高麗海運（株）で意見を交換する訪韓団



↑興亜海運（株）の金社長（右から3番目）と写真におさまる訪韓団

型化などに対応するために水深13メートルを整備していること、②荷役効率を大幅に向上させるガントリークレーンの供用を4月から開始すること、③道路網の整備が着実に進んでいることなど、伊万里港のPRを行いました。一方、航路を運航している会社サイドからは、意見や要望に加えて今後の物流戦略などの話があるなど、より良い港づくりのためのヒントとなる話し合いの機会となりました。

今回の訪問を契機に、伊万里港がさらに発展を遂げることが期待されています。

市長出前まちづくり 座談会を開催します

市は、次の日程で『市長出前まちづくり座談会』を開催します。



これは、市長が市民と直接対話し、市政の現状や方向性をわかりやすく説明するとともに、今後の市政運営やまちづくりに活かすため、広く皆さんの生の声を聴くことで市民のニーズを把握することを目的とした対話集会です。

今後、市内の各町単位で順次開催をしていく予定です。テーマは設けておらず、だれでも自由に参加できますので、皆さん、ぜひお越しください。

※今後の開催予定は、広報紙などで随時お知らせします。

日時

- ▽黒川公民館 1月18日（金）
 - ▽大川公民館 1月30日（水）
- ※時間はいずれも午後7時～8時30分

問合せ

情報広報課市民サービス係

☎232133

市長雑感

伊万里市長 塚部 芳和

魚

お正月などめでたい時や祝い席には、鯛がよく料理で出されます。鮮やかな朱色で形も整い、魚の王様と言われていました。また、『一生一代（一升一鯛）』『めでたい』げるという意味、『めでたい』など語呂合わせもよく、縁起ものとして結納の席にはなくてはならない魚です。

四方を海に囲まれているわが国は豊かな漁場に恵まれ、私たちにとって魚は、昔からなじみの深い食材でした。種類も多く、刺身や煮つけ、塩焼き、鍋など料理方法もさまざま、食卓に欠かせない存在です。

しかし、最近では魚より肉を好む人が増え、魚を食べる人が減ったと言われています。そこで、水産庁は魚介類の消費拡大を狙い『魚の国のしあわせ』プロジェクトを展開し、その一環として、魚に関する知識や魚食文化の伝承などに努める人材を『お魚かたりべ』に任命する制度を始めまし

た。特に若い世代向けには、『ファストフィッシュ』商品の充実を図り、多様な魚食文化の普及をめざしています。『ファストフィッシュ』とは、『あらかじめ骨を取り除いたり、簡単に調理できるように加工した魚』のことです。まな板の上で、魚をさばけない人などには便利ですね。

ところで、最近は食生活の変化や運動不足などが原因で生活習慣病が増えていますが、魚には健康に良い栄養素（タンパク質、カルシウム、DHAなど）が含まれていて、特にアジやサバなどの青物は、コレステロールを抑制する効果があるとされています。今年、蛇足ながら、夕食に魚を一品加えて食べてみてはいかがでしょうか。

今年一年を乗り切るためには、健康が一番です。伊万里牛を食べるのも結構ですが、一方では魚も食べ、バランスの良い食生活で新年をスタートさせていただけたらと願っています。